

一般社団法人 大阪ビジネスパーク協議会

設立趣意書

2015年10月14日

1970年に発足した「大阪ビジネスパーク開発協議会」は、地権者により構成されたまちづくり団体としては全国の草分け的存在であり、45年の長きにわたり大阪ビジネスパーク（OBP）のまちづくり活動を支えてきました。

しかしながら1986年のまち開きから30年が経過したOBPは、梅田・中之島・天王寺等の新規開発によるエリア間競争の中で劣勢に立たされており、地区としての再活性化が喫緊の課題となってきました。地区内建物が一斉に大規模改修、機能更新を迎える今後10～20年の間に地区の魅力を再生し、リ・ブランディングを図っていく必要が生じたのです。

このような背景から、「大阪ビジネスパーク開発協議会」は2011年7月に「OBPリノベーション事業推進協議会」を組織し、地区のスマートコミュニティ化へ向けた各種の調査検討や実証実験、都市再生安全確保計画の策定へ向けた地区の防災性向上に取り組んできました。また、2014年4月には下部組織として「都市再生部会」を設け、地区のまちづくりを担う公的な位置づけである都市再生推進法人の認定取得によるパークアベニューの再整備や道路占用による賑わいづくりの検討を進めています。

これらの活動をより積極的かつ円滑に推進し、OBPのリ・ブランディングを実現するために、今般「大阪ビジネスパーク開発協議会」を任意団体から一般社団法人「大阪ビジネスパーク協議会」へ移行するものです。